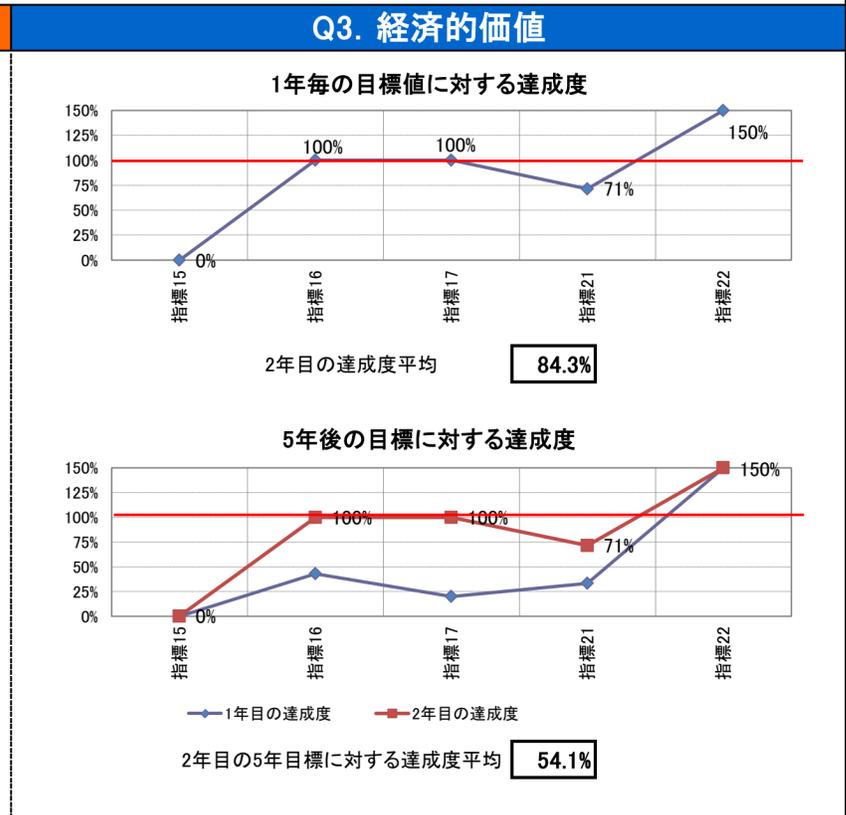
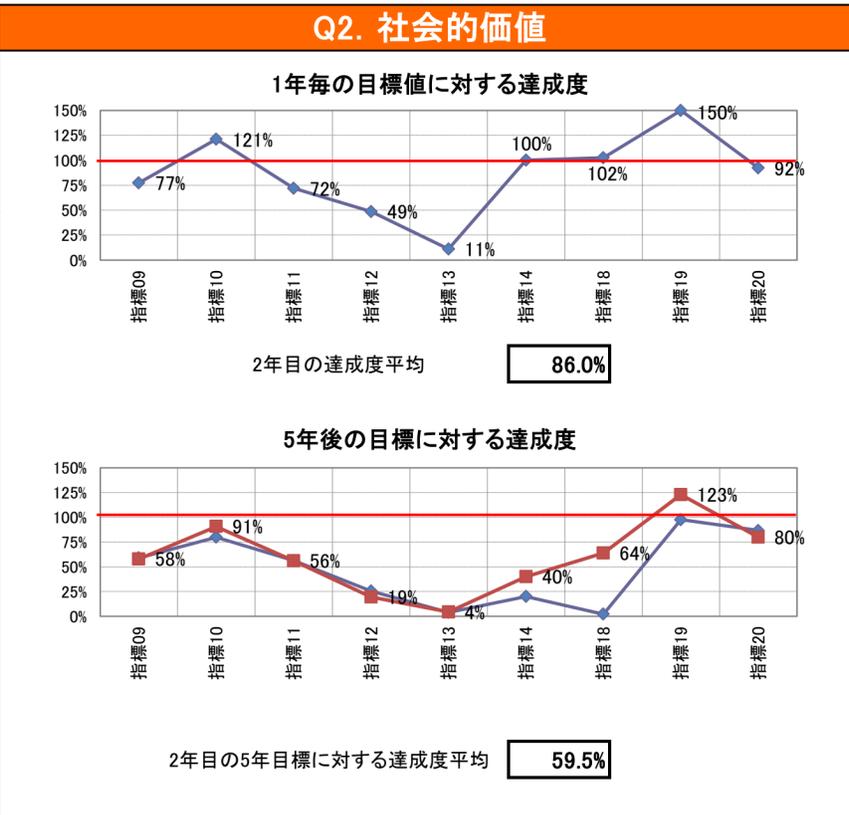
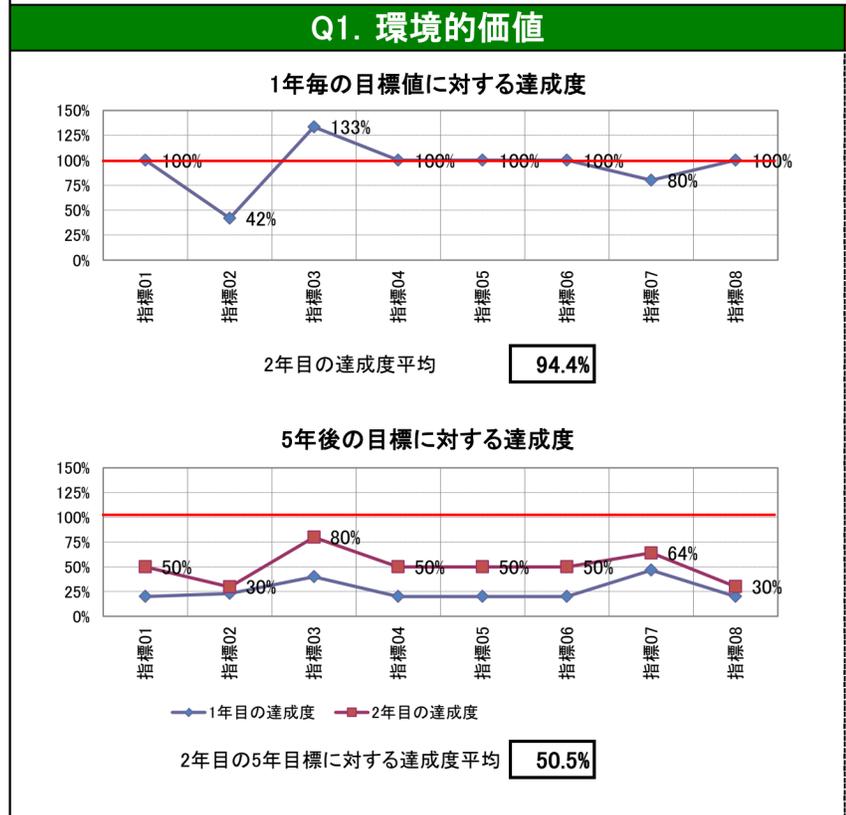


千葉県 柏市	人口: 404,361人
	世帯数: 173,588世帯(平成26年3月末現在)
	就業人口: 188,536人(平成22年10月末現在)
	面積: 115km ² (うち森林面積1.12km ²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)



指標番号	指標名
指標01	駅周辺5街区のエネルギー管理・節電ナビゲーションを行う『柏の葉・AEMSセンター』のインターフェイスシステム整備
指標02	スマートメーター導入戸数
指標03	カーボンオフセット協賛企業
指標04	再生可能エネルギー地産地消システムの構築
指標05	148街区における大規模ガス発電機の配備
指標06	非常時における街区間電力融通
指標07	次世代交通システム利用者
指標08	柏ITS情報センターの設立
指標09	通所リハビリのサービス実施件数
指標10	訪問リハビリのサービス実施件数
指標11	運動器ケアの実施者割合(%)
指標12	口腔ケアの実施者割合(%)
指標13	栄養ケアの実施者割合(%)
指標14	元気高齢者が地域で活躍できるコミュニティ構築～東京大学高齢社会総合研究機構・監修～
指標15	エンジェル税制活用件数【大学・研究機関発ベンチャー企業】
指標16	個人(インフルエンサーやエンジェル)による創業支援のモデルケースの実現
指標17	アジアのベンチャーをネットワーク化する“Asian Entrepreneurship Award”の開催
指標18	地域カホイントプログラム加入者数
指標19	実証実験の市民モニター数(人)
指標20	フィールド型研究・実証実験数(件)
指標21	ネットワーク参画機関数
指標22	海外視察団体数

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

・平成25年10月14日～18日の4日間、都内ビッグサイトにてITS世界会議東京2013が開催。本市は同会場において展示ブースの出展及び、柏の葉地区へ移動しての見学ツアー(テクニカル・ビジット・ツアー)を企画。ITS情報センター機能のデモやマルチシェアリングの実証、自動車から排出されるCO2の見える化のデモ等、ITS分野における様々なプログラムを実施し、世界へ柏の葉モデルをPRした。

平成25年度の取組総括

平成25年度については環境系を中心に次年度完成する事業も多かったため、その過渡期として進捗を見守る期間という側面が総じて強かった。ただしその一方、市民モニター数(指標19)や海外視察団体数(指標22)等の指標において、高水準の維持が引き続き確認できるとおり、当該エリア内外のより幅広い層に対して環境未来都市への参画意識啓発やPRに取り組めたと考える。一方、超高齢化分野においては全面的な見直し、新しい目標設定を踏まえ、今後事業を推進していく。

委員からの取組全体に関する評価

別紙参照

委員からのコメント（柏市）

- 柏の葉キャンパスの活動は見えるが、柏市全体の取組みが見えづらい。
- 町(住民)のサポートと既存住民(柏の葉以外)に対するポジティブな影響をもう少し知りたい。栄養ケアなど比較的簡単なところが伸び悩んでいるのが心配。アクティブシニア、とりわけシニアをライアビリティではなくアセット(資産)としてみる試みをもっと欲しい。そして、発信してほしい。企業のおいしが豊富でいいが、役所と人間のおいしも欲しい。
- UDCKなど特徴である創業育成分野は着実に進展している。環境ではスマートグリッドの完成等で順調な進展が確認出来る。超高齢化分野では総合特区に平仄を合わせる形でトータルヘルスケアステーション創設など新体系に切り替わることから、今後アウトカムがより見える形で進展して欲しい。
- 柏の葉と他の市部の関係が不明。首都圏郊外としての取組が見えればより良いものとなる。
- 柏市全体の取組が見えるとより良い形となる。○○をやっている的な内容が多いので、それがどのような効果が出ているかを見えるようにした方が良い。
- 事業視点が強く生活視点が分かりづらいので改善を期待したい。指標9～13は厚生労働省の指標としては理解出来るが、ここでの指標として適切か検討してほしい。
- 既に社会実装した最初の都市と考えているが、三井不動産がベースであり、よりコンソーシアムの連携が見えるようにして欲しい。
- 柏市民全体に目配りをした政策を進めて欲しい。
- 健康・ケアに関する指標に遅れが見られる。
- 3つの課題ごとに具体的取組がなされているが、取組実行の中で他の課題にも資することを発見し、複合的に実施していく体制を持って欲しい。(今は縦割りに見受けられる)

環境未来都市 PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリスト

作成日: 平成26年6月5日
 作成者(部署/氏名): 柏市企画部企画調整課/小河原 博志
 承認者(部署/氏名): 柏市企画部/岩崎 克康

確認事項	チェック項目	確認根拠	確認	是正処置
①環境未来都市計画及び目標の策定	環境未来都市計画の各取組に中長期(5年後)および単年度(1年後)の目標が設定されている。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての目標値は定量的に評価できる。定量的に評価できない目標値は、その進捗を計測する代替手段がある。	環境未来都市計画書	✓	
	全ての取組においては責任者が定められており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
②実施体制の構築	構成員間の役割分担・責任分担が明文化された体制図が作成されている。	環境未来都市計画書	✓	
	部局間、事業間の連携を図るために仕組みづくり(会議運営等、各都市で具体的な内容を明記)が検討されており、かつ実行されている。	環境未来都市計画書	✓	
③都市間連携・ネットワークの有効活用	(都市名と具体的な連携内容記載)に関して連携をしている、もしくは今後連携を予定している。	環境未来都市計画書	✓	
	成功事例を他へ展開するために具体的な仕組みを構築している、もしくは今後構築を予定している。	環境未来都市計画書	✓	
④関係者の参画	全体計画の立案から、その実行、見直しの全てのフェーズにおいて関係者が参画している。	環境未来都市計画書	✓	
	環境未来都市計画において各取組に参画が必要な関係者が特定されており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
⑤関連文書の記録・作成	文書の作成者、承認者が決まっている。また文書・記録の管理を実施する責任者が決まっており、明文化されている。	環境未来都市計画書	✓	
	作成された文書・記録の保管場所・保管期間が決まっており、関係者に周知徹底されている。	文書管理表	✓	
	ウェブサイト等のICTを活用した情報開示を行っている。	柏市等ホームページ	✓	
⑥取組状況の定期的な確認並びに問題の是正および予防	計画の中で、定期的(2回/年)に「取組評価」の自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市取組個票	✓	
	定期的(2回/年)な自主評価の結果、目標の達成が難しいと判断された取組に対しては確実に是正処置を施すよう、その確認をする責任者が決められている。	環境未来都市取組個票	✓	
	計画の中で、毎年PDCAサイクルを回すための取組執行体制に係わる自己チェックリストの自主評価が明文化され、かつ実行している。	環境未来都市取組個票	✓	
⑦代表者による全体の評価と見直し	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	
	代表者による全体評価において評価すべき項目が決められている。	環境未来都市評価シート	✓	
	前回の代表者による全体評価での指示事項は全て実行されている。	環境未来都市評価シート	✓	
⑧その他	代表者による全体評価のプロセスが構築され、かつ実行している。	環境未来都市評価シート	✓	

是正処置への対応の詳細

・都市間連携、ネットワークの有効活用においては、市民・事業者の参画が促進し、こうしたプログラム紹介を含めた、内外の自治体・研究機関の視察対応、PR、意見交換が図られた。なお、超高齢化対応分野においては見直しを要する局面にあり、次年度には具体的な取組を視野に入れて関係者との課題共有や役割分担等の調整を図っていく。

代表者による確認

事業の推進にあたり、環境、超高齢化、経済と3つの異なる分野について、市の内部以外にも、東大、千葉大をはじめ、民間企業等との調整を図ることで、事業の推進を進めることができた。次年度は、上記のとおり計画内容の見直しを行い、積極的な環境未来都市の事業推進を図るよう関係者との調整に努める。
 また、平成26年度においてはAEMS(取組1)が稼働開始する。これに関連する様々な取組と合わせて今後どのように継続していくか、運営上の課題の抽出・整理も検討を進めていく。

推進委員会による確認